



## 新年度を迎えるにあたり

校長 佐々木 秀之

桜の花は開花から二週間を過ぎ、少しずつ葉桜へと変わり始めています。小学校の入学の日を誰よりも待っていた 88 名の 1 年生。「今年も！」と大いに張り切っている 456 名の上級生。そして、子供たちのためにと一丸となった 50 名の教職員。本日、大泉小学校の令和 2 年度が始まりました。

\*

しかし、今、我が国は新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、国民が一体となって努力しています。昨年度末の 3 月は学校が臨時休業となりました。本日、始業式・入学式を行いました。先日 3 日（金）、練馬区教育委員会より、5 月 6 日（水）まで臨時休業を実施する旨の通知がありました。私たち教職員は学校の授業が一日も早く再開されることを心から願っています。そして、再開までの間、何ができるかを考え、精一杯努力するとともに、子供たちが学校に戻ってきた際には、以下のことを方針として全力で取り組んでまいります。

「すべての教育活動は大泉に学ぶ子供たちのためにある」ことを常に念頭に置き、「子供と教職員が活力に満ち、満足できる学校」「学ぶ意欲を高め、確かな学力が身に付く学校」「保護者が安心でき地域が誇りに思う学校」を目指し、魅力ある学校づくりをしてまいります。毎日の教育活動に関しては、以下の 4 つを教育活動の基準として、充実した教育活動を行うよう、努めてまいります。

### 4 つの教育活動基準（SNCE）

- 子供たちに安全で安心できるものであるか（**Safety** 安全）
- 子供たちの「知・徳・体」をはぐくむものであるか（**Nurture** はぐくみ）
- 保護者の皆様が納得できるものであるか（**Consent** 納得）
- 最小限で最大の効果を生むものであるか（**Efficiency** 効果）

\*

どんなに世の中が変わり社会が変化してもよりよく生きたいという子供たちの願いは変わりません。そして、その願いを実現させるのが教育であり学校の力です。社会の変化を見据え、一人一人が個人として自立し、社会の一員としてそれぞれの分野でたくましく生き抜いていくため、「真の生きる力」を身に付けさせるための教育を教職員の英知を結集して努力してまいります。

どうぞ、ご理解・ご協力をお願いいたします。